



令和7年8月6日

三田市長 田村 克也様

三田市身体障害者福祉協議会  
会長 [REDACTED]

## 令和8年度要望書

拝啓

平素は身体障害者の福祉について格別のご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

身障協としての要望をまとめて提出いたします。

三田市における身体障害者福祉のさらなる向上を願ひまして、以下のとおり要望いたします。ご配慮いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. ふれあい福祉バス助成金について

昨年度要望として、助成金の限度額アップを依頼しましたが、今年度申請書を見ると申請額の総合計が350万円を超過した場合は助成を終了するとありました。

まず、このことに関して事前に何らかの連絡もなかったことに不信感を覚えています。

また、早い者勝ちのような取り扱いであり、公平に広く利用できる制度にはなっていないと思います。

この350万円の限度額が撤廃できないのなら、せめて利用者団体に事前に予定を聞いて年度計画に支障をきたさないように配慮していただきたいです。

#### 2. 障害者の特性に応じた心配蘇生法、AEDの取り扱い方法、気道異物除去法等の救急講習会を開催してほしい。

(手が不自由な人、目が見えない人、耳が聞こえない人等がどうやって救急措置をすればよいか)

#### 3. 障害者スポーツ支援にもっと取り組んでほしい。

国民スポーツ大会で優秀な成績を収めても三田市ではなんらアクション

もない。

4. 福祉避難所「三田市総合福祉センター」の災害時の対応について  
身体障害者が当センターに避難する場合、障害別の配慮がされるように、また避難スペースの確保や情報保障等の配慮が図られるようマニュアルの作成と検証をお願いします。必要に応じて当事者団体の意見を聞きながらマニュアルの作成、検証、避難訓練を実施してほしい。

5. B型作業所における年齢制限の撤廃  
現在B型作業所で訓練・しごとに従事している人がある年齢に達すると強制的にやめさせられていると聞きます。本人の希望も聞かずに年齢で切り捨てているという事実があります。これを撤廃してください。

以上